

賛否意見書

ふくしま市産官学連携プラットフォーム
事務局 御中

令和 8 年 月 日

所属機関_____

氏 名_____

私は、令和7年度外部評価委員会の議題について、資料を精査した結果、次のとおり、賛否意見を提出します。

【議 題（意見聴取事項）】（賛否に○印で示して下さい）

- | | | | |
|----------------------|------------------------------------|---|---|
| (1) 令和7年度事業の実績報告について | ☒ 賛 | ・ | 否 |
| (2) 令和7年度決算について | ☒ 賛 | ・ | 否 |

【意見等】

左記の意見聴取事項及びその他意見等ございましたら、こちらにご記入ください。

本プラットフォームの運営におかれましては、そのご尽力に敬意を表します。

新規事業へのチャレンジや既存事業のアップデートもあった中で、決算の数値も概ね対予算として適切に運営がなされたものと拝察します。

時世の動きも慌ただしく変化し大変ではありますが、今後も柔軟かつ価値的なご対応が望まれるかと思いますので、引き続き宜しくお願い致します。

(社会福祉法人 多宝会 加藤 貴之 理事長)

・事業実績ですが、FD・SD・PT等の略語が通常使用されており注釈もしくは日本語表記にしていた方が理解しやすいと思いました。

・各種イベントを実施していますが、例えばイベントの来場者数や作成した動画の視聴回数等を明示した方が、イベントの効果が測定しやすいのではと思いました。

(とうほう地域総合研究所 諸根 浩文 理事・事務局長)

令和7年度ふくしま産官学連携プラットフォーム事業につきましては、高等教育機関、産業界及び行政が連携し、地域課題の解決や人材育成に向けた取組が着実に実施されたと思います。特に各機関がそれぞれの専門性や資源を持ち寄り、教育・研究活動や地域貢献活動を推進したことは、本事業の目的達成に寄与するものであったと思います。又、福島市においては人口減少や若者の流出、地元企業への人材定着といった課題があるので、その解決に向けて、事業成果をより具体的な数値で把握し、効果検証を進めていけると良いと思います。さらに学生や企業、市民がプラットフォームの活動に触れる機会を増やし、認知度向上と参加者拡大につなげる取り組みを継続して行ってほしいと思います。

昨年、骨折してしまい長期休暇を取ったため、ご協力等できずに大変申し訳ありませんでした。新規実施の事業や、各事業の内容充実を実感させて頂きました。今後も産官学がそれぞれの強みを生かしながら連携を深め、地域に必要とされる人災育成や地元定着の促進、生涯学習機会の充実など、福島市の持続的な発展に資する事業展開を期待しております。

(ささや三育こども園 山崎 麻弥子 園長)

人材育成及び地域活性化 LIVE AZUMA 2025 への出店は、非常に面白い試みである。次年度以降も続けていくことで、効果の検証も行うことができる。さらに次年度は、地元企業と共同で出店しコラボ商品などの販売を学生が行うなど新しい取り組みもぜひ行ってほしい。

また、昨年同様ではあるが、外部評価をするにあたり中長期計画の達成度を項目ごとに進捗確認できる表の作成をお願いしたい。進捗を確認することで次の課題が明確になり、効率化を図るために必須である。ぜひご検討いただきたい。

(株式会社 いちい 伊藤 翼 管理本部長)

LIVE AZUMA 2025 出店に関しては面白い取り組みであるが費用対効果で考えるとより充実した内容に検討も必要ではないか。市内企業の積極的な参加を促すなどもう少し時間の余裕があるようにプランニングして連携感をもてるようにした方がよい。またイベントもこれだけではなく高校生や大学生向けキッズニア的なイベントを実施したら通常の就職イベントと差別化が図れるのではないか。

(株式会社 ふくしまキャリアナビ 渡辺 あゆ美 取締役)